

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 9 月 18 日 (2008.9.18)

【公開番号】特開 2007-41321 (P2007-41321A)

【公開日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2007-006

【出願番号】特願 2005-225884 (P2005-225884)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/20 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 3 4

G 0 3 G 15/20 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 7 月 31 日 (2008.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録材上にトナー像を形成する画像形成手段と、

筒状の定着フィルムと、前記定着フィルムの内面に接触するヒータと、前記定着フィルムを介して前記ヒータと共に定着ニップ部を形成しており前記定着フィルムを回転させる加圧ローラと、を有し、前記定着ニップ部で記録材を挟持搬送しつつ記録材上のトナー像を記録材に加熱定着する定着手段と、

前記画像形成手段と前記定着手段を収容する枠体と、

を有する画像形成装置において、

前記定着手段の長手方向の一方の端部より外側の前記枠体には前記枠体内から前記装置外へ空気を排出する第 1 のファンが、前記定着手段の他方の端部より外側の前記枠体には前記装置外から前記枠体内へ空気を吸引する第 2 のファンが、それぞれ設けられており、

前記第 2 のファンは前記加圧ローラの回転軸よりも前記装置の設置面に近い位置に、前記第 1 のファンは前記加圧ローラの回転軸よりも前記設置面から離れた位置に、それぞれ配置されており、

前記第 2 のファンにより前記枠体内へ吸引された空気が前記加圧ローラの表面を前記回転軸と略平行に通過した後、前記第 1 のファンから前記装置の外に排出されることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記第 2 のファンは記録材の搬送方向において前記加圧ローラの回転軸よりも上流側に配置されており、

前記第 1 のファンは前記加圧ローラの回転軸よりも下流側に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 1 2 】

上記目的を達成するために本発明にあっては、

記録材上にトナー像を形成する画像形成手段と、

筒状の定着フィルムと、前記定着フィルムの内面に接触するヒータと、前記定着フィルムを介して前記ヒータと共に定着ニップ部を形成しており前記定着フィルムを回転させる加圧ローラと、を有し、前記定着ニップ部で記録材を挟持搬送しつつ記録材上のトナー像を記録材に加熱定着する定着手段と、

前記画像形成手段と前記定着手段を収容する枠体と、

を有する画像形成装置において、

前記定着手段の長手方向の一方の端部より外側の前記枠体には前記枠体内から前記装置外へ空気を排出する第１のファンが、前記定着手段の他方の端部より外側の前記枠体には前記装置外から前記枠体内へ空気を吸引する第２のファンが、それぞれ設けられており、

前記第２のファンは前記加圧ローラの回転軸よりも前記装置の設置面に近い位置に、前記第１のファンは前記加圧ローラの回転軸よりも前記設置面から離れた位置に、それぞれ配置されており、

前記第２のファンにより前記枠体内へ吸引された空気が前記加圧ローラの表面を前記回転軸と略平行に通過した後、前記第１のファンから前記装置の外に排出されることを特徴とする。